学校番号	105

令和３年度　地理歴史科

教科	地歴科	科目	地理Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校「高校生の地理Ａ」（帝国書院） 「新詳高等地図」（帝国書店）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

グローバル化の進展，国際情勢や地球環境の変化などに伴う現代世界が抱える諸課題と，生活圏などの地域にみられる諸課題を地理的に考察する科目です。そのために，地理Ａは作業的かつ体験的な学習をより一層重視して，さまざまな諸課題を日常生活と関連付けて取り扱い，地理的な技能を身に付させるとともに，地理学習の有用性に気付かせ，生徒の学習意欲を高めることに配慮した内容や方法を工夫しています。現代世界や生活圏の諸課題について，主に主題的な方法をもとにして学習できるようにしているのも，そうした点を踏まえたものです。これらのねらいが達成できるよう，地理Ａは次のように構成されています。

第１章では，地球儀と世界地図との比較や読図などを通して地理的技能を身に付させるとともに，方位や時差，日本の位置と領域，国家間の結びつきなどについて学習します。

第２章では，世界の地形・気候・経済・文化について広く大観して学習します。

第３章では，せかいかくちの生活・文化を学習します。世界の諸地域を，事例地域を取り上げてその地域の生活・文化などを具体的に扱います。

第４章では，資源・エネルギー，人口，食料，都市，環境などに関わる諸課題を大観するとともに，持続可能な社会の実現に向けた国際協力や日本の取り組みについて学習します。

第５章では，防災をふくむ身近な地域の諸課題について，地図の読図や作図などの作業的，体験的な学習を通して地理的技能や地理的な見方や考え方を身に付けさける学習をします。

これらの学習を通じて，国際社会に主体的に対応して生きるとともに，平和で民主的な国家や社会を形成する公民としての自覚と資質を身に付けることを目指します。

２　学習の到達目標

現代社会の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	○地理的諸事象，ないしは現代的諸課題に興味・関心を抱き，それらを自分自身の生活との関わりから積極的に位置づけ，結びつけることができる。 ○地理学習の意義を積極的に見いだし，そこで得た知識・技能・態度を社会生活，ないしは現代的諸課題の解決に生かすことができる。	○地図化したことを他の地理的諸事象との関わりから分析・考察・解釈し，そこから地理的概念や規則性（地理的見方・考え方）を見いだすことができる。 ○地図化することで得た概念や規則性をもとに，現代世界が抱える諸課題の現状を発見することができる。 ○現代的諸課題を，地域性を踏まえて，その背景・要因・解決策を多方面から追究し，より良い社会のあり方を環境・人権・平和の観点から提言することができる。	○学習に必要とされる様々な資料を収集し，それらを的確に取捨選択し，調査・分析することができる。 ○文献や統計の分析，野外における諸事象の観察から，地理情報を見いだし，それを的確に地図化することができる。 ○地図化したことを，論理的に分析・解釈することで，その成果をパワーポイントやレポートなどに的確にまとめることができる。	○地理的諸事象や地域性，現代的諸課題の分析・考察に必要とされる基礎的知識（用語･地名など）や基本的概念（空間，環境，地域）を身につけている。 ○地域において社会生活を営むにあたって必要とされる基礎的知識や基本的概念，地理的見方・考え方を身につけている。
評価方法	①　年５回の定期考査では，ペーパーテストによって出題範囲における習得の状況を評価します。 ②　課題追究学習のレポートを評価のための資料とします。 ③　学習活動の様子や発表，討論などの様子を評価のための資料とします。 ④　自己評価，振り返りシートを参考とします。	①　年５回の定期考査では，ペーパーテストによって出題範囲における習得の状況を評価します。 ②　課題追究学習の際のレポートを評価のための資料とします。 ③　学習活動の様子や発表，討論などの様子を評価のための資料とします。 ④　自己評価，振り返りシートを参考とします。	①　年５回の定期考査では，ペーパーテストによって出題範囲における習得の状況を評価します。 ②　課題追究学習の際のレポートを評価のための資料とします。 ③　学習活動の様子や発表，討論などの様子を評価のための資料とします。 ④　自己評価，振り返りシートを参考とします。	①　年５回の定期考査では，ペーパーテストによって出題範囲における習得の状況を評価します。 ②　課題追究学習の際のレポートを評価のための資料とします。 ③　学習活動の様子や発表，討論などの様子を評価のための資料とします。 ④　自己評価，振り返りシートを参考とします。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	球面上の世界	第1節地球儀と地図 第2節国と国との結びつき 第3節地図で見る世界のつながり ステップアップ①歴史を地図で読み解こう	○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	○	a:球体としての地球の把握や様々な図法による世界地図の理解。地図や写真・統計資料の読み取りや理解に努めようとしたか。 b:地域間・国家間・歴史的事象を地図を用いて考察できたか。 c:主題図・写真・グラフ・統計資料を読み取り理解出来たか。 d:地球を球面でとらえ位置・方位・距離・時差・季節を正しく理解出来たか。	考査 作業ノート 授業態度(ノート・提出物・質問の応答・机間巡視など) レポート
一学期	自然生活文化と私たちの暮らし	第1節地形と私たちの暮らし 第2節機構と私たちの暮らし 第 3 節経済・文化と私たちの暮らし ステップアップ②写真を通して地理を学ぼう	○ ○ ○	 ○ ○	○	 ○ ○	a:地形・気候・経済・文化に興味関心を持って授業に臨めたか。写真・統計資料の読み取りに意欲的に取り組んだか。 b:歴史的背景・グローバル化・情報化が及ぼす影響。地形や気候・宗教の特徴。 c:写真・グラフ・雨温図・統計資料を読み取ったか。 d:地形・気候・経済・文化など多様性を理解し異文化尊重の態度を理解したか。	考査 作業ノート 授業態度(ノート・提出物・質問の応答・間巡視など) レポート
二学期	世界各地の生活文化	第1節中国 第2節朝鮮半島 第3節東南アジア 第4節南アジア 第5節中央アジア・西アジア北アフリカ 第6節サハラ以南アフリカ 第7節ヨーロッパ 第8節ロシア 第9節アングロアメリカ 第10節ラテンアメリカ 第11節オセアニア ステップアップ③旅行雑誌の編集部員になろう	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:世界各地の生活・文化・地形・気候や諸問題の理解に努め興味関心を持って臨んだか。 b:諸地域の自然環境・生活・産業・文化的について比較したり、共通点・異質点を理解し異文化を尊重する意義重要性を理解出来たか。 c:写真や主題図やグラフ・資料を読み取り地図帳をうまく利用できたか。 d:諸地域の自然環境・生活と文化・歴史・産業・民族問題などを通じ諸地域の理解が出来たか。日本と世界諸地域の関係・関連を理解出来たか	考査 作業ノート 授業態度(ノート・提出物・質問の応答・机間巡視など) レポート

三学期	地球的課題	第1節人口問題 第2節食糧問題 第3節居住都市問題 第4節資源エネルギー問題 第5節環境問題 ステップアップ④持続可能な社会とは何か	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○ ○ ○	a:人口問題・食糧問題・都市問題・資源エネルギー問題・環境問題について地球社会の一員として、原因や問題点・課題を理解し、自分なりに解決の方策や課題を考えようと努めたか。 b:諸問題相互の関連性や、解決を考察し、持続可能な社会の実現が必要であること、また自分もその社会の一員であることを理解し、自覚できたか。 c:分布図で問題を地球レベルで捉え、かつ地域的偏りの啓光も読み取ることが出来たか。 d:諸問題聰亙の関連性を理解出来たか。諸問題の原因を理解し、問題の解決に地球規模の取り組みが必要なことを理解し、解決には持続可能な社会実現が必要なことを理解出来たか。	考査 作業ノート 授業態度(ノート・提出物・質問の応答・机間巡視など) レポート
三学期	生活圏の諸課題	第1節地図とGISの利用 第2節日本の自然環境と防災 第3節生活圏の諸課題と地域調査 ステップアップ⑤アニメを通して地図を楽しもう ステップアップ⑥地図を防災と復興に役立てよう ステップアップ⑦地域調査の結果を発信しよう		○ ○ ○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○ ○ ○	a:自然環境・自然災害を学習し生活圏の諸課題・防災意識・地域調査に興味・関心を持ち意欲的に取り組んだか。 b:自然環境・自然災害の関係について考察できたか。地図は目的により表現方法に違いがありその用途や応用について考えることが出来たか。 c:主題図・統計資料から自然環境や土地利用の特徴・災害発生の危険性読み取ることが出来たか。ハザードマップからの情報収集能力が身に付いたか。 d:自然環境・土地利用の特徴をしり、自然災害との関わりを理解出来たか。地域値の課題の発見の仕方や利用方法に関する知識を身につけたか。	考査 作業ノート 授業態度(ノート・提出物・質問の応答・机間巡視など) レポート

※　表中の観点について a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現　c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点　　・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。